

## 子どもたちが井原山を制覇

ドリームトレイサー2009

市では2月20日から21日にかけて「ドリームトレイサー2009」の井原山登山と閉講式を行いました。ドリームトレイサーは、年6回活動しており、今回が最終回となります。

この日は、早朝から「瑞梅寺山の家」におよそ30人の子どもたちが集合。スタッフから登山の注意事項の説明を受けると、子どもたちは真剣な表情へと変わり、山登りが待ちきれない様子でした。数日前の雪で、水無登山口の周辺は、まだ真っ白で滑ります。最初は不安げな顔をしていた子どもたちでしたが、スタップに続けと、足元の悪い山道を元氣よく登っていました。



悪路の雪山を協力しながら、一步一步登る子どもたち



会場のほの暗い雰囲気の中で、静かにおひなさまを鑑賞する来館者

## 糸島伝統のひな壇が大集合

糸島のひなまつり

「糸島のひなまつり」を2月20日から3月22日まで、志摩歴史資料館で開催しました。これは、旧志摩町で行っていた「志摩のひなまつり」を拡大し、市内に残るひな壇を展示する催しです。

今回、展示したおひなさまは、市内全域から、40世帯の市民の協力を得て集められ、段飾りを中心に、八朔びなや掛け軸びな、土びな、箱びななど、珍しいものが展示されました。

会場はほの暗い照明で、部屋に足を踏み入れると独特の世界が広がり、雰囲気は満点です。ひな壇を見ようと来館した人たちは、予想以上の会場の雰囲気驚きの声を上げていました。

## キーワードは台所にあり

食・糸島地域フォーラム

第4回「食料・農業・環境」糸島地域フォーラムが2月20日、JA糸島本店3階ホールで開催されました。

子どもたちへつないでいきたい糸島の食と農や、今、私たちにできることは何かをテーマに、現在フリーライターとして活躍する渡辺美穂さんが基調講演を行いました。

その後、市食生活改善推進会会長の洲之内博子さんや糸島農業高校農場長の正願地徹さん、JA糸島農協青年部部長の加茂正彦さんが加わり、子どもたちの食の現状や何ができるかなどをパネルディスカッションで語り合いました。



将来の子どもたちを思い、熱い討論が繰り広げられました

## 二丈地区の歴史を堪能

糸島市誕生記念企画展

糸島市誕生を記念して2月20日から3月28日まで、伊都国歴史博物館で「古代の美的感覚企画展」を開催しました。企画展では、旧二丈町から出土した文化財を中心に展示しました。

会場には、大入地区の薬師堂に伝わる銅像「如来形坐像」や博多土人形の系譜を引く津屋崎人形などが展示され、また、それぞれの時代を代表する土器などが並べられました。

博物館には企画展の初日から、市内外の多くの古代史ファンが訪れました。来館者たちは、展示された文化財などから糸島の歴史を学び取ろうと、熱心に展示物に見入っていました。



会場には文化財が時代ごとに並び、時の流れが感じられる



西谷先生の話聴きながら、熱心にメモを取る受講者たち

## 時空を超えて古代国家へ

伊都歴史博の名誉館長講座

伊都国歴史博物館では、中国や朝鮮半島との交易の窓口であった糸島半島の遺跡や文化財、先人がたどってきた歴史などが展示、紹介されています。

これまでに発掘された数々の出土品の展示のほか、講座やイベントも人気を博しています。特に、昨年4月から始まった西谷正名誉館長講座には、毎回会場いっぱい受講者が集まります。定員は100人ですが、約半数は糸島市外からの受講者で、糸島の魅力の高さがうかがわれます。

2月21日に開催された第6回講座のテーマは「律令国家の成立―奈良時代―」で、この日も熱心にメモを取る姿が見受けられました。



ボランティアについて説明する松尾芳子さん(左)

## 楽しみながら社会に貢献

地域ささえあい研修会

ボランティアの輪を広げようと、「地域ささえあい研修会 in 糸島」が2月20日、伊都文化会館で開催されました。

午前中は、ボランティアコーディネーターの松尾芳子さんが、ボランティアの目的や、行政活動との違いなどを分かりやすく説明されました。

午後は、NPO法人ふれあい天童理事長の加藤由紀子さんが「ささえあいの地域づくり」と題して講演。講演後は、あなたができるボランティア、異世代交流で元気な居場所づくりなどをテーマに三つの分科会を開催。活動紹介や、ボランティアがもたらす効果について語り合いました。